

第7回武蔵野市国際オルガンコンクール



1位の福本茉莉さん(中央)、2位の長田真実さん(左)、3位のアンゲラ・メッツガーさん(右)。福本さんは2014年度に武蔵野文化事業団主催のリサイタルを開催できるほか、ナクス・レーベルよりCDがリリースされます

9月21日(金)から30日(日)にかけて、第7回武蔵野市国際オルガンコンクールが開催されました。フランスやドイツ、カナダなどで行われる世界最高峰のオルガンコンクールと同等の知名度を誇るまでに成長したコンクールでは、初の日本人の優勝もありました。

TOPICS 03

4年に一度、オリンピックキヤーに開催される武蔵野市国際オルガンコンクール。優秀なオルガニストの輩出と、国際交流の促進を目的として1988年から始まり、7回目を迎える今年は、世界21カ国、120名が参加し、オーディションで合格し

た精鋭15名が武蔵野文化会館小ホールに集まり、第二次予選、本選を含む10日間で世界最高レベルの競演が行われました。

コンクール開催2カ月前から、街

中にポスターを掲示。また、市内各所でプレイベントを行ってきたことで気運も高まり、本選と入賞者披露演奏会のチケットは早々に完売し、予選でも当日券を求め長蛇の列ができる大盛況となりました。

予選が始まると、緊張感漂うステージでは、限られた時間で準備し、ベストを尽くすオルガニストたちの聴き応えのある演奏が繰り広げられました。二次予選は誰がファイナリストに選ばれても不思議ではないほど実力が伯仲し、会場は緊迫した雰囲気になりました。名前の呼ばれなかつた出場者がその場で涙する場面もありました。



福本さんの演奏の様子



コミュニティセンターや市役所、美術館、武蔵野プレイスなどではプレイベントが行われました



使用された市民文化会館小ホールのパイプオルガン

ファイナリストによるリサイタル形式で行われた本選では、プログラムが多岐にわたり、個性豊かな演奏が披露されました。1人40〜50分の持ち時間で演奏を行い、途中休憩を挟みながら約5時間の長丁場。しかし観客は、時間を忘れてその素晴らしい演奏に耳を傾けていました。

本選の結果、見事1位を

獲得したのは、日本人では初の1位となる福本茉莉さん。また、2位も日本人の長田真実さんが獲得し、3位のアンゲラ・メッツガーさん(ドイツ)は、観客投票による聴衆賞も獲得しました。最終日は入賞者による演奏会を開催。世界最高レベルの競演は、大盛況のまま幕を閉じました。

問い合わせ

公益財団法人武蔵野文化事業団

☎0422-54-8822

<http://www.musashino-culture.or.jp/>